

 $R \ensuremath{\,\mathrm{e}}$ v. 0.9.0

2011年12月12日

情報化推進センター

1 はじめに

- 1.1 本書について
 - 1.1.1 本書は、学内にて uWLAN 無線ネットワーク(以下、uWLAN)に接続する為の接 続手順を説明した学生向け資料です。
- 1.2 作業条件について
 - 1.2.1 uWLAN 利用者は、本学発行 無線 LAN アカウント・パスワードを取得済みで あることを条件とします。
 - 1.2.2作業端末が無線ネットワークを受信出来ることを前提とします。
 - 1.2.3作業場所にて uWLAN を受信出来ることを前提とします。
 - 1.2.4以下の動作環境を実装出来るものとします。

OS 条件	
WindowsVista (32bit, 64bit)	

- 1.3 問い合わせ先
 - 1.3.1 手順等にて不明点がある場合は以下の連絡先にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先	
場所 (常三島):情報化推進センター1 階 事務室 u\LAN 接続担当係	
電話番号:088-656-7557 (内線:82-4813)	
場所(蔵本) : 附属図書館 1 階 蔵本分室 uWLAN 接続担当係	
電話番号:090-5911-6758(内線:87-0617)	



図 1:案内図(常三島)

図 2:案内図(蔵本)

- 1.4 tokushima-uWLAN ネットワーク設置場所
 - 1.4.1以下に tokushima-uWLAN 設置場所一覧を示します。

	設置場所一覧
場所(常三島)	:附属図書館1階
場所(常三島)	:共通講義棟1階、2階、3階、4階、5階
場所(常三島)	:総合科学部1号館1階、2階、3階,3号館1階
場所(常三島)	:工業会館 2 階
場所(常三島)	:建設棟前(野外)
場所(常三島)	:知財本部前(野外)
場所(蔵本)	:附属図書館 2 階
場所(蔵本)	: 薬学部1階、2階
場所(蔵本)	:臨床講義棟1階、2階
場所(蔵本)	:共通講義棟
場所(蔵本)	:歯学部

2 利用規約について

- 2.1 留意点について
 - 2.1.1 接続条件
 - > 徳島大学のセキュリティポリシーを遵守すること。
 - アンチウイルスソフトがインストールされ、パターンファイル更新の有 効期限が切れていないこと。
 - > 上記ソフトのパターンファイルが更新されていること。
 - > 不正に取得したソフトウェアをインストールしていないこと。
 - OSの不具合修正パッチが適用されており、最新の情報であること。(例: Windows Updateの適用)。
 - 2.1.2 利用可能時間帯

※終日(土日祝日含む)ただし、メンテナンスによる停止は除く。

3 uWLAN 接続用事前設定について

3.1 証明書インストール

3.1.1ルート証明書の取得

学内より、下記の URL にアクセスし、root.crt ファイルをダウンロードし ます。(任意の場所に保存)

https://web.db.tokushima-u.ac.jp/DNS/PKI/CA/root.crt

3.1.2Microsoft 管理コンソールを起動します。

スタートメニューから、「検索の開始」入力欄に「mmc」と入力して、enter キーを押します。



3.1.3ファイルメニューから、「スナップインの追加と削除」を選びます。



3.1.4利用できるスナップインの下の方にある、「証明書」を選択し、「追加」をク リックします。



3.1.5 このスナップインで管理する証明書のうち、「コンピュータアカウント」を 選択し、「次へ」をクリックします。

証明書スナップイン	×
このスナッブインで管理する証明書	
○ ユーザー アカウント(M) ○ サービス アカウント(S)	
● コンピュータ アカウント(C)]	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

3.1.6 このスナップインで管理するコンピュータを選択して下さい、から「ローカ ルコンピュータ(L)にこのコンソールを実行しているコンピュータ」を選 択し、完了をクリックします。

レビュータの選択 このスナップインで管理するコンセ	ピュータを選択してください。
このスナップインで管理するコン	/ピュータ:
	(このコンソールを実行しているコンピュータ)
○ 5小のコンピュータ(A):	
 コマンド ラインから起動し これは、コンソールを保存 	ったときは、違訳されたコンピュータを変更できるようにする(W) Fした場合にのみ適用されます。
	< 戻る(B) 完了 キャンセル

3.1.7 コンソールルートに証明書(ローカルコンピュータ)があることを確認し、

「OK」をクリックします。

、ナップイン ヘタスク スケジューラ	ベンダ Microsoft Corpor	^		ごコンソール ルート 「「」「証明書(ローカル	コンピュータ)	拡張の編集(凶) 両Ⅲ(金(中)
ディスクの管理 デバイスマネージャ フォルダ オポッシーの結果セット ローカル ユーザーとグループ 印刷の管理 共有フォルダ 承担マネージャ 証明書 (言物性とパフォーマンス モー	Microsoft and V., Microsoft Corpor., Microsoft Corpor., Microsoft Corpor., Microsoft Corpor., Microsoft Corpor., Microsoft Corpor., Microsoft Corpor., Microsoft Corpor.,	<u>زور</u>	bo(A) >			上へ移動(U) 下へ移動(D)
信頼性モニタ	Microsoft Corpor	*		-		〕 ■詳細調定(⊻)

3.1.8 コンソールルートの証明書から、「信頼されたルート証明機関」をダブルク リックします。



3.1.9操作からすべてのタスク→「インポート」をクリックします。



3. 1. 10 証明書のインポートウィザードが開きますので、参照ボタンをクリックし、3. 1. 1 でダウンロードした root 証明書(root. crt)を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

インポートする証明	書ファイル			
インボートするファ	イルを指定してください。			
ファイル名(E):				
C:¥Users¥ mm ¥	Downloads¥root.crt		参照(F	₹)
注意: 次の形式を	:使うと1 つのファイルに複数(の証明書を保管できます:		
Personal Info	rmation Exchange- PKCS	#12 (.PFX.P12)		
Cryptographi	c Message Syntax Standa	rd- PKCS #7 証明書 (.	⁹ 7В)	
Microsoft 9,	アル化された証明書ストア(.SST)		
証明書ファイルの形式の	り詳細について表示します。			

3.1.11 「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」をチェックし、「次へ」を クリックします。次の画面で、証明書ストアが「信頼されたルート証明機関」 であることを確認し、完了をクリックします。

証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステ,	ム上の領域です。
	けるか ミエリリカの根所たたマオスことができます
WINDOWS (2019) TAKE TO BUD (2010)	とのかく記で行きのがありたきにとうのことかででよう。
◎ 証明書の種類に基づいて、自動的に	証明書ストアを選択する(U)
◎ 証明書をすべて次のストアに配置する	(C)
証明書ストア:	
信頼されたルート証明機関	参照(<u>R</u>)
証明書ストアの詳細を表示します	
	(展るUB) 次へ(N) そやうわり

3.1.12 インポートした証明書(root-ca.db.tokushima-u.ac.jp)が一覧にある ことを確認し、ページを閉じます。

	杂 /## ^	杂 /7.美		操作	_
● 証明書(ローカルコンピュータ) ●	Correct A table to the second to the se	DST Root CA X3 Entrust.net Secure Server Cer Equifax Secure Certificate Aut Equifax Secure Cidobal eBusine GeoTrust Cidobal CA GlobalSign Root CA Go Daddy Class 2 Certification GTE CyberTrust Global Root Microsoft Authenticode(tm) R Microsoft Root Authority Microsoft Root Certificate Aut NO LIABILITY ACCEPTED, (c) Tod-Ca.db.tokuslimma-u.ac.jp	u u	証明書 他の操作	
	Security Communication Ro Thawte Premium Server CA Thawte Server CA Thawte Server CA	Security Communication Root Thawte Premium Server CA Thawte Server CA Thawte Server CA	-		

3.1.13 コンソールの設定を保存して、インストール終了です。



- 3.2 uWLAN 接続用設定
 - 3.2.1スタートメニューよりコントロールパネルを選択します。



3.2.2ネットワークとインターネットより「ネットワークの状態とタスクの表示」



3.2.3 ネットワークと共有センターより「ワイヤレスネットワークの設定」を選択 します。



3.2.4 ワイヤレスネットワークの管理より「追加」を選択します。



3.2.5「ネットワークプロファイルを手動で作成します(M)」を選択します。



 3. 2. 6 接続に使用するワイヤレスネットワークの情報 (ネットワーク名 (E) は 「tokushima-uWLAN」、セキュリティの種類 (S) は「WPA-エンタープライズ」、 暗号化の種類 (R) は「AES」)を選択し、「次へ (N)」を選択します

ネットワーク名(트):	tokushima-uWLAN	
zキュリティの種類(<u>S</u>):	WPA-エンタープライズ	•
音号化の種類(<u>R</u>):	AES	•
2キュリティ キーまたは		ロパスフレーズ文字を
▼ この接続を自動的に開いた	割始します(工)	
■ネットワークがブロ-	-ドキャストを行っていない場合でも	接続する(<u>0</u>)

3.2.7次に「接続の設定を変更します(H)」を選択します。



 3. 2. 8 tokushima-uWLAN ワイヤレスネットワークのプロパティから「セキュリティ」 タブを選択し、ネットワークの認証方法の選択が「Microsoft 保護された EAP (PEAP)」になっていることを確認後、設定をクリックします。

接続 セキュリティ	
セキュリティの種類(E): 暗号化の種類(<u>N</u>):	WPA - エンタープライズ ・ AES ・
ネットワークの認証方法の Microsoft 保護された	D)選択(<u>O</u>): TEAP (PEAP)
00204202 ロコする(A)	今後の接続のため、ユーザー情報をキャッシ

3.2.9下図の通りチェックを確認し、構成(C)をクリックします。

「次のサーバーに接続する」のチェックを外す

「信頼されたルート証明機関」の「root-ca. db. tokushima-u. ac. jp」にチェ ツクを入れる。

🗖 次のサ-	バーに接続す	3(0): 🔶	チェック	を外す	F
信頼された	ルート証明機関	(<u>R</u>):			
Micros	oft Root Auth	ority	• 1.00		
Micros	oft Root Cert	ificate Author	ity 🚽		7 4.
V root-ca	idb.tokushima	a-u.ac.jp	~ ナエ	シフを	入九
Thawte	Premium Sei	rver CA			0
Thawte	Server CA				
 Thawte	Server CA				
•		ш			•
」 い(P) 正方法を選	がする(<u>S</u>):	***C4 **C81171	(N()≠3 (2)+Y+8,6+ 7 (2)		-4102/06
キュリティで	呆護されたパス	ワード (EAP-N	(SCHAP v2)	[構成(C).
すばやい再	接続を有効に	する(<u>F</u>)			
2 IO. I V I I	- طبيع الشيطير بليها	3(0)			
検疫のチェ	ソクを有3加とする	2/ <u>3</u> /			

3.2.10 接続のための認証方法のチェックをはずし、OKをクリックします。



4 uWLAN 初回接続手順について

4.1.1 無線 LAN のアクセスポイントがある場所で、画面右下にあるアイコンをクリ ックし、「ネットワークに接続」をクリックします。



4.1.2ネットワークに接続の一覧から、「tokushima-uWLAN」を選択し接続します。 事前に取得した無線 LAN アカウントとパスワードを入力して設定完了です。

以上